

島根原子力発電所温排水影響調査

服部 守男 , 森脇 晋平

1. 目 的

島根原子力発電所の運転にともなり、温排水による周辺海域の漁場環境・生物に与える影響を調べるために行なった。

2. 実施の概要

海況調査は調査船やそしま(9.4トン)にて観測を行ない、水温、塩素量、色度、濁度、潮流、D.O、PH、プランクトン採取等を実施した。生物調査は潮間帯生物、海藻群落目視排水口附近付着生物潜水調査、岩ノリ生育状況調査を行なった。

3. 実施経過

海況調査地点 図1

調査日

○水温・塩素量・プランクトン

4月 4回

5月 2回

7月 4回

8月 2回

11月 4回

12月 4回

1月 2回

2月 2回

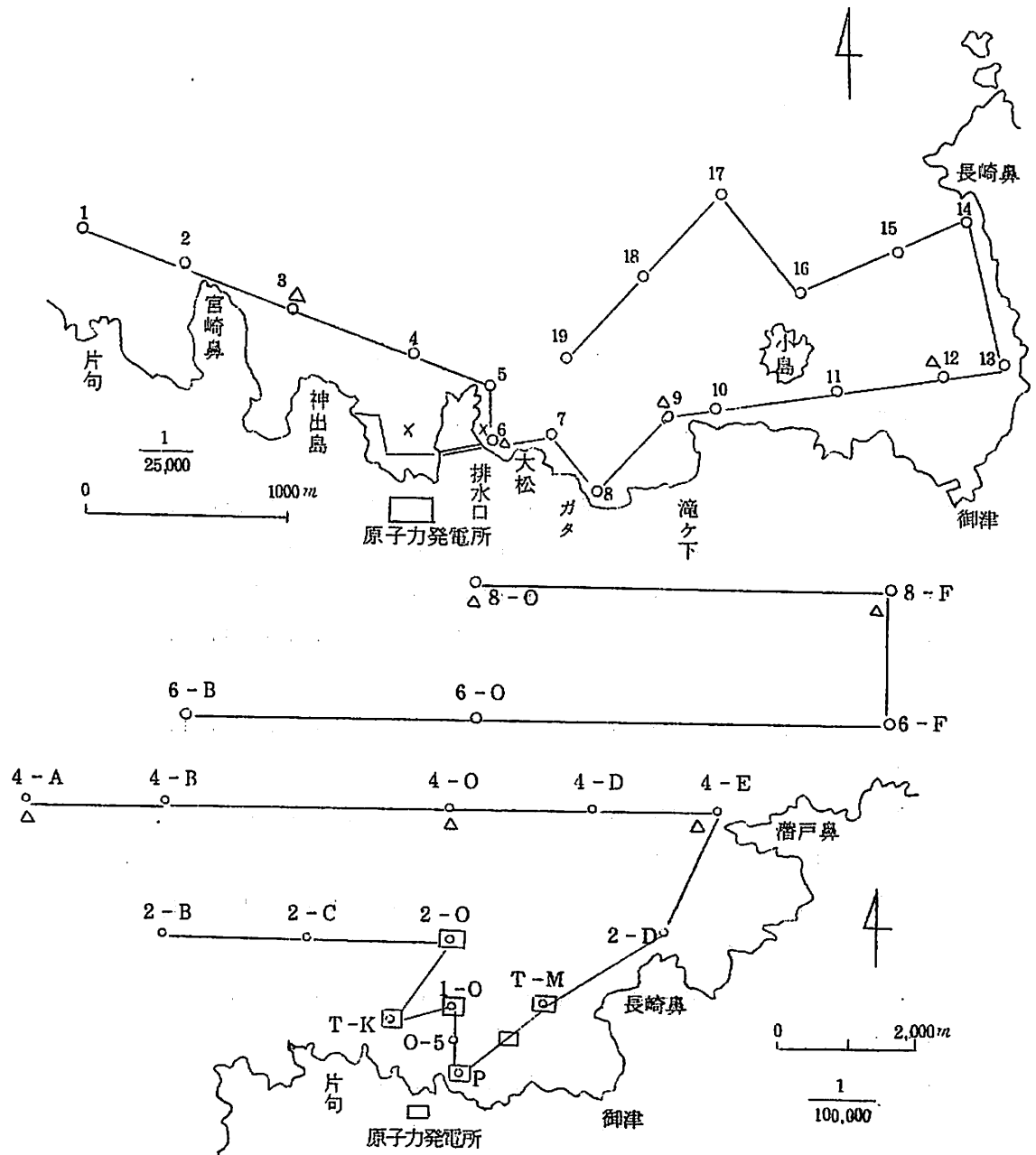
○潮流・D.O・PH

5月 1回

8月 2回

9月 1回

○色度・濁度



- 沿岸定線 St.1~19 の 19 点
 - 色度・温度 ×印 (2点)
 - 潮流調査 □印 (6点)
 - 浮遊微生物調査 △印 (9点)
 - PH DO調査 □印 (6点)
- 沖合A定線 2-B~4-A の 14 点
 沖合B定線 6-B~8-O の 5 点

図1 海況調査地点

6月 1回
7月 1回
12月 1回
1月 1回

○採水・採泥

4月 1回
8月 1回
11月 1回

観測水深及び観測点

- イ. 沖合A定線 14点(0, 1, 2, 3, 5, 7, 10, 30mの8層水温・塩素量)
- ロ. 沿岸定線 19点(0, 1, 2, 3, 5, 7, 10mの7層水温・塩素量)
- ハ. 沖合B定線 5点(0, 1, 3, 5, 7, 10, 30mの7層水温・塩素量)
- ニ. 潮流 6点(定点2-0, T-K, 0-5, P, T-M, 18の3, 5, 7, 10, 20, 30mの6層)
- ホ. D・O, PH 6点(定点2-0, T-K, 0-5, P, T-M, 18の0, 1, 2, 3, 5mの5層)
- ヘ. 色度・濁度 2点(取水口附近, 排水口附近の濁度は0, 1, 2, 3, 5mの5層)
- ト. プランクトン 沖合A定線の3点(定点4-A, 4-0, 4-E)沖合B定線の2点(定点8-0, 8-F)沿岸定線の4点(定点3, 6, 9, 12)の10m層垂直曳, 北原式定置ネット××13を使用
- チ. 潮間帯生物 片匂一御津両地区計10点, 枠刈り, 目視観察, 写真撮影
- リ. 海藻群落 高鼻一平島間箱目鏡による目視観察
- ヌ. 付着生物 排水口外側テトラ付近 枠刈り, 目視観察, 写真撮影
- ル. 岩ノリ生育状況 片匂一御津両地区計10点 枠刈り, 写真追跡

4. 調査結果

島根原子力発電所環境放射能等調査結果(各四半期報告及び年度報)に水温・色度・濁度を報告発表。